

プログラム（ポスター）

ポスター会場（1F セミナールーム A+B+ホワイエ） 9：15～9：40

ポスターセッション 1-1

臨床 1

【司 会】 泉 並木（武蔵野赤十字病院）

- P1-1-1 進行肝細胞癌に対するレンバチニブ PD 後のラムシルマブ治療の初期経験
名古屋大学 消化器内科
○葛谷 貞二、石上 雅敏、杉山 由晃、吉岡 直輝、水野 和幸、武藤 久哲、横山 晋也、田中 卓、山本 健太、伊藤 隆徳、石津 洋二、本多 隆、藤城 光弘
- P1-1-2 進行肝細胞癌に対する多剤逐次療法としてのラムシルマブの検討
広島大学病院 消化器・代謝内科
○末廣 洋介、河岡 友和、安藤 雄和、小坂 祐未、山岡 賢治、内川 慎介、盛生 慶、中原 隆志、村上 英介、山内 理海、柘植 雅貴、平松 憲、今村 道雄、相方 浩、茶山 一彰
- P1-1-3 当院における進行肝細胞癌に対するラムシルマブの初期使用経験
武蔵野赤十字病院 消化器科
○早川 優香、土谷 薫、稲田 賢人、桐野 桜、山下 洸司、関口 修平、大澤 玲於奈、王 婉、岡田 真央、樋口 麻友、高浦 健太、前屋舗 千明、金子 俊、玉城 信治、中西 裕之、板倉 潤、黒崎 雅之、泉 並木
- P1-1-4 当院におけるレンバチニブ不応例に対するラムシルマブの使用経験
¹ 虎の門病院 肝臓センター 内科、² 虎の門病院 肝臓センター 外科
○粕谷 加代子¹、川村 祐介¹、進藤 潤一¹、梶原 彰¹、入谷 壮一¹、小林 祐太²、小林 正宏¹、池田 健次¹、藤山 俊一郎¹、瀬崎 ひとみ¹、保坂 哲也¹、芥田 憲夫¹、斎藤 聡¹、鈴木 文孝¹、鈴木 義之¹、荒瀬 康司¹、橋本 雅司²、熊田 博光¹
- P1-1-5 進行肝細胞癌に対するラムシルマブの使用経験
大阪赤十字病院 消化器内科
○坂本 梓、佃 頌敏、大江 夏美、網野 遥、中西 梨紗、瀧本 郁久、多木 未央、木村 佳人、瀬戸山 健、邊見 慎一郎、山階 武、澤井 勇悟、鼻岡 昇、米門 秀行、浅田 全範、喜多 竜一、津村 剛彦、圓尾 隆典、木村 達、丸澤 宏之

ポスターセッション 1-2

臨床 2

【司 会】池田 健次 (虎の門病院 肝臓内科)

P1-2-1 Child-Pugh A/切除不能肝癌治療におけるレンバチニブ PD 時点の臨床像
(多施設共同研究)

¹愛媛県立中央病院 消化器病センター内科、²岐阜協立大学 看護学科、³大阪医科大学 消化器内科、
⁴日本医科大学 消化器内科、⁵愛媛大学 消化器・内分泌・代謝内科、⁶手稲溪仁会病院 消化器内科、
⁷済生会新潟病院 消化器内科、⁸香川県立中央病院 肝臓内科、⁹岡山市市民病院 肝臓内科、
¹⁰旭中央病院 内科、¹¹富山大学 消化器内科、¹²おたかの森病院 消化器内科、

¹³徳島県立中央病院 消化器内科、¹⁴松山赤十字病院 肝胆膵センター、¹⁵大垣市民病院 消化器内科

○平岡 淳¹、熊田 卓²、福西 新弥³、厚川 正則⁴、広岡 昌史⁵、辻 邦彦⁶、石川 達⁷、
高口 浩一⁸、狩山 和也⁹、糸林 詠¹⁰、田尻 和人¹¹、島田 紀朋¹²、柴田 啓志¹³、
越智 裕紀¹⁴、豊田 秀徳¹⁵、多田 俊史¹⁵、日浅 陽一⁵、能祖 一裕⁹、上甲 康二¹⁴

P1-2-2 切除不能肝癌に対するレンバチニブを含む MTA sequential 治療成績と予後因子

¹国保旭中央病院 消化器内科、²愛媛県立中央病院 消化器病センター内科、³岐阜協立大学 看護学部、
⁴日本医科大学 消化器内科、⁵愛媛大学 消化器・代謝・内分泌内科、⁶手稲溪仁会病院 消化器内科、
⁷済生会新潟第二病院 消化器内科、⁸香川県立中央病院 肝臓内科、⁹岡山市立市民病院 消化器内科、
¹⁰富山大学 消化器内科、¹¹おたかの森病院 消化器内科、¹²徳島県立中央病院 消化器内科、
¹³松山赤十字病院 肝胆膵センター、¹⁴大垣市民病院 消化器内科、¹⁵宝塚市立病院 消化器内科、
¹⁶鹿児島市立病院 消化器内科、¹⁷近畿大学医学部 消化器内科

○糸林 詠¹、平岡 淳²、熊田 卓³、厚川 正則⁴、広岡 昌史⁵、辻 邦彦⁶、石川 達⁷、
高口 浩一⁸、狩山 和也⁹、田尻 和人¹⁰、島田 紀朋¹¹、柴田 啓志¹²、越智 裕紀¹³、
多田 俊史¹⁴、豊田 秀徳¹⁴、能祖 一裕⁹、田中 弘教¹⁵、玉井 努¹⁶、工藤 正俊¹⁷

P1-2-3 ソラフェニブに対して忍容性がありレゴラフェニブへの移行が可能となる症例の検討

¹愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学、²愛媛県立中央病院 消化器病センター

○小泉 洋平¹、廣岡 昌史¹、平岡 淳²、砂金 光太郎¹、行本 敦¹、田中 孝明¹、中村 由子¹、
渡辺 崇夫¹、吉田 理¹、徳本 良雄¹、阿部 雅則¹、日浅 陽一¹

P1-2-4 肝細胞癌に対するソラフェニブーレゴラフェニブシークエンシャル療法の治療成績

神奈川県立がんセンター

○福島 泰斗、小林 智、上野 誠、長島 周平、佐野 裕亮、河野 邦幸、田中 聡、浅間 宏之、
森本 学

P1-2-5 Tyrosine kinase inhibitor 治療中の肝予備能の推移に関する検討

広島大学病院 消化器・代謝内科

○内川 慎介、河岡 友和、相方 浩、安藤 雄和、山岡 賢治、末廣 洋介、小坂 祐未、
盛生 慶、中原 隆志、村上 英介、柘植 雅貴、平松 憲、今村 道雄、茶山 一彰

ポスター会場（1F セミナールーム A+B+ホワイエ） 10:05~10:30

ポスターセッション 1-3

臨床 3

【司 会】大崎 往夫（明和病院 消化器内科）

- P1-3-1 進行肝臓薬物療法における多剤逐次療法の成績—3次治療まで見据えて—
広島大学病院 消化器・代謝内科
○河岡 友和、相方 浩、山岡 賢治、安藤 雄和、末廣 洋介、内川 慎介、茶山 一彰
- P1-3-2 切除不能肝細胞癌に対するレンバチニブの市販後治療成績
～広島肝臓 study group における多施設共同研究～
広島大学病院 消化器・代謝内科
○安藤 雄和、小坂 祐未、末廣 洋介、山岡 賢治、内川 慎介、児玉 健一郎、盛生 慶、
藤野 初江、中原 隆志、村上 英介、山内 理海、河岡 友和、柘植 雅貴、平松 憲、
今村 道雄、相方 浩、茶山 一彰
- P1-3-3 切除不能進行肝細胞癌に対するレンバチニブの治療成績：多施設共同研究
¹大阪大学大学院 医学系研究科 消化器内科学、²大阪警察病院 消化器内科、
³大阪国際がんセンター 肝胆膵内科、⁴国立病院機構大阪医療センター 消化器科、
⁵JCHO 大阪病院 消化器内科、⁶箕面市立病院 消化器内科、⁷関西労災病院 消化器内科、
⁸兵庫県立西宮病院 消化器内科
○前阪 和城¹、阪森 亮太郎¹、山田 涼子¹、田畑 優貴¹、中堀 輔¹、重川 稔¹、小玉 尚宏¹、
足田 隼人¹、尾下 正秀²、大川 和良³、三田 英治⁴、伊藤 敏文⁵、田村 信司⁶、萩原 秀紀⁷、
飯尾 禎元⁸、巽 智秀¹、竹原 徹郎¹
- P1-3-4 進行肝細胞癌に対する Lenvatinib を中心とした肝臓治療の現状
¹兵庫医科大学 内科・肝胆膵科、²兵庫医科大学 超音波センター、³兵庫医科大学 肝胆膵外科
○西村 貴士^{1,2}、由利 美奈子¹、由利 幸久¹、石井 紀子¹、長谷川 国大¹、高田 亮¹、楊 和典¹、
高嶋 智之¹、坂井 良行¹、會澤 信弘¹、池田 直人¹、西川 浩樹¹、岩田 恵典¹、榎本 平之¹、
波多野 悦朗³、西口 修平¹、飯島 尋子^{1,2}
- P1-3-5 当科における進行肝細胞がんに対するレンバチニブの治療成績
順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科
○佐藤 俊輔、甘楽 裕徳、玄田 拓哉

ポスター会場（1F セミナールーム A+B+ホワイエ） 9:15~9:40

ポスターセッション 2-1

臨床 4

【司 会】片山 和宏（大阪国際がんセンター）

- P2-1-1 切除不能進行肝細胞癌に対する lenvatinib の治療効果と課題
岩手医科大学 消化器内科肝臓分野
○及川 隆喜、遊佐 健二、金沢 条、陣内 雪奈、岡本 卓也、米澤 美希、米澤 剛広、
佐藤 琢郎、佐藤 寛毅、阿部 珠美、鈴木 悠地、遠藤 啓、佐原 圭、黒田 英克、滝川 康裕

P2-1-2 レンバチニブ治療後に更に予後を伸ばす最適な治療について検討する（多施設共同研究）

¹九州がんセンター 消化器肝胆膵内科、²飯塚病院 肝臓内科、³九州大学 病態制御内科学講座、
⁴九州医療センター、⁵製鉄記念八幡病院、⁶福岡市民病院、⁷福岡東医療センター、⁸小倉医療センター、
⁹LINKS（九州大学第3内科肝臓研究室関連病院）

○杉本 理恵^{1,9}、国府島 庸之^{3,9}、大穂 有恒^{5,9}、森田 祐輔^{2,9}、多田 靖哉^{7,9}、上田 哲弘^{6,9}、
大江 真里^{5,9}、吉本 剛志^{4,9}、佐藤 丈顕^{8,9}、矢田 雅佳^{2,9}、山下 晋作^{8,9}、田中 ゆき^{6,9}、
田中 紘介^{2,9}、千住 猛士^{1,9}、荒武 良総^{1,9}、宮崎 将之^{2,9}、田中 正剛^{3,9}、中牟田 誠^{4,9}、
本村 健太^{2,9}、加藤 正樹^{3,9}

P2-1-3 レンバチニブ治療による肝予備能の変化は肝癌治療効果を予測できる

¹山口大学大学院医学系研究科 消化器内科、²山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学

○佐伯 一成¹、厚東 由里佳¹、高見 太郎¹、山崎 隆弘²、坂井田 功¹

P2-1-4 再発肝細胞癌に対するレンバチニブの有用性

埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科

○瀧上 彰、今井 幸紀、内田 義人、打矢 紘、藤井 庸平、中澤 学、安藤 さつき、
本谷 大介、菅原 通子、中山 伸朗、富谷 智明、持田 智

P2-1-5 Lenvatinib の実臨床における治療効果と RDI

¹長崎大学病院 消化器内科、²長崎大学病院 移植消化器外科、³佐世保市総合医療センター 消化器内科、

⁴独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 臨床研究センター、

⁵独立行政法人 地域医療機能推進機構 諫早総合病院 消化器内科、

⁶長崎みなとメディカルセンター 消化器内科、⁷日本赤十字社 長崎原爆病院 消化器内科、

⁸佐世保中央病院 消化器内科

○佐々木 龍¹、福島 真典¹、原口 雅史¹、三馬 聡¹、宮明 寿光¹、日高 匡章²、江口 晋²、
松尾 諭³、田島 和昌³、松崎 寿久³、釘山 有希⁴、八橋 弘⁴、橋本 さつき⁵、大場 一生⁵、
本吉 康英⁶、重野 賢也⁷、木下 昇⁸、中尾 一彦¹

ポスター会場（1F セミナールーム A+B+ホワイエ） 9：40～10：05

ポスターセッション 2-2

臨床 5

【司 会】熊田 卓（岐阜協立大学 看護学部 看護学科）

P2-2-1 Lenvatinib 治療における初期 Relative dose intensity と治療効果に関する検討

武蔵野赤十字病院 消化器科

○桐野 桜、土谷 薫、黒崎 雅之、金子 俊、稻田 賢人、山下 洸司、大澤 玲於奈、
関口 修平、早川 優香、王 婉、岡田 真央、樋口 麻友、高浦 健太、前屋舗 千明、
玉城 信治、安井 豊、中西 裕之、板倉 潤、高橋 有香、泉 並木

P2-2-2 切除不能肝細胞癌に対するレンバチニブ治療の予後に関連する因子の検討

¹関西医科大学 消化器肝臓内科、²関西医科大学 肝臓内科、

³関西医科大学総合医療センター 肝臓病センター

○山口 隆志¹、池田 広記¹、吉田 勝紀¹、山科 雅央^{1,3}、村田 美樹^{1,3}、石崎 守彦²、
松井 康輔²、海堀 昌樹²、関 寿人³、岡崎 和一¹

P2-2-3 体表面積補正 Dose intensity (DBR ; DI/BSA ratio) に着目した肝細胞癌に対する Lenvatinib 導入の最適化

京都大学 消化器内科

○恵荘 裕嗣、中野 重治、三嶋 眞紗子、荒澤 壮一、井口 恵里子、中村 文保、竹田 治彦、高井 淳、高橋 健、妹尾 浩

P2-2-4 Lenvatinib 治療効果解析における Relative dose intensity (RDI) の問題点と体表面積補正 Dose intensity (DBR ; DI/BSA ratio) の有用性

京都大学 消化器内科

○恵荘 裕嗣、中野 重治、三嶋 眞紗子、荒澤 壮一、井口 恵理子、中村 文保、竹田 治彦、高井 淳、高橋 健、妹尾 浩

P2-2-5 レンバチニブ治療を受ける進行肝がん患者の HRQOL を含めた臨床経過の予測因子

¹東海大学医学部 看護学科、²東海大学医学部 内科学系消化器内科学

○庄村 雅子¹、岡部 春香¹、白石 光一²、広瀬 俊治²、鶴谷 康太²、荒瀬 吉孝²、安斎 和也²、加川 建弘²

ポスター会場 (1F セミナールーム A+B+ホワイエ) 10:05~10:30

ポスターセッション 2-3

臨床 6

【司 会】坂本 直哉 (北海道大学大学院医学研究院 消化器内科学教室)

P2-3-1 進行肝臓癌に対するレンバチニブの至適導入タイミングの検討

¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学、²鹿児島市立病院 消化器内科、

³鹿児島厚生連病院 内科

○馬渡 誠一¹、玉井 努^{1,2}、最勝寺 晶子^{1,3}、笠井 亜衣¹、谷山 央樹¹、坂江 遥¹、伊集院 翔¹、榑 一晃¹、小田 耕平¹、熊谷 公太郎¹、平峯 靖也^{1,3}、井戸 章雄¹

P2-3-2 肝両葉多発肝臓癌に対して、分子標的薬併用下に繰り返し片葉 TACE を繰り返すプロトコールの初期経験

大阪赤十字病院 消化器内科

○喜多 竜一、大江 夏美、中西 梨紗、網野 遥、坂本 梓、米門 秀行、木村 達、丸澤 宏之

P2-3-3 進行肝臓癌における Lenvatinib を用いた Conversion therapy の可能性—肝切除、Microwave ablation、肝動脈塞栓術による追加治療の検討—

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器内科学、²徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器移植外科学

○友成 哲¹、田中 宏典¹、田中 貴大¹、谷口 達哉¹、齋藤 裕²、居村 暁²、島田 光生²、高山 哲治¹

P2-3-4 TACE 不応・進行肝臓癌に対するレンバチニブの Sequential TACE の有用性についての検討

¹虎の門病院 肝臓センター 内科、²虎の門病院 肝臓センター 外科

○中村 聡¹、川村 祐介¹、進藤 潤一²、粕谷 加代子¹、梶原 彰¹、入谷 壮一¹、小林 祐太²、小林 正宏¹、池田 健次¹、藤山 俊一郎¹、瀬崎 ひとみ¹、保坂 哲也¹、芥田 憲夫¹、齋藤 聡¹、鈴木 文孝¹、鈴木 義之¹、荒瀬 康司¹、橋本 雅司²、熊田 博光¹

P2-3-5 BCLC intermediate-stage におけるレンバチニブの治療成績：
TACE 不適と TACE 不応の現況

¹群馬県済生会前橋病院 消化器内科、²群馬大学附属病院 消化器・肝臓内科、
³渋川医療センター 消化器内科、⁴桐生厚生総合病院 内科、⁵伊勢崎市民病院 内科、
⁶高崎総合医療センター 消化器内科、⁷前橋赤十字病院 消化器内科、
⁸群馬大学総合外科学講座 肝胆膵外科分野
○畑中 健¹、柿崎 暁²、長島 多聞³、竝川 昌司⁴、嶋田 靖⁵、戸島 洋貴²、長沼 篤⁶、
新井 弘隆⁷、佐藤 賢²、播本 憲史⁸、調 憲³、浦岡 俊夫²

ポスター会場 (1F セミナールーム A+B+ホワイエ) 9:15~9:40

ポスターセッション 3-1

臨床 7

【司 会】寺井 崇二 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野)

P3-1-1 門脈浸潤合併進行肝細胞癌に対する門脈血流動態からみた治療選択

¹東邦大学医療センター大森病院、²東邦大学薬学部 病態生化学
○向津 隆規¹、永井 英成¹、松井 太吾¹、吉峰 尚幸¹、天沼 誠¹、小林 康次郎¹、荻野 悠¹、
松井 哲平¹、大道 泰子¹、和久井 紀貴¹、靱山 浩一¹、篠原 美絵¹、桧貝 孝慈²、
五十嵐 良典¹

P3-1-2 REFLECT 試験基準外症例におけるレンバチニブ治療の経過

埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科
○内田 党央、須田 健太郎、西川 稿、名越 澄子

P3-1-3 REFLECT 試験に含まれなかった進行肝細胞癌症例に対するレンバチニブ適応拡大の可能性

¹千葉大学大学院医学研究院 消化器内科、²国保君津中央病院 消化器内科、³国保旭中央病院 消化器内科、
⁴日本医科大学千葉北総病院 消化器内科、⁵国立病院機構千葉医療センター 消化器内科、
⁶船橋市立医療センター 消化器内科、⁷松戸市立総合医療センター 消化器内科
○丸田 享¹、小笠原 定久¹、大岡 美彦¹、大部 誠道²、井上 将法³、糸川 典夫⁴、芳賀 祐規⁵、
関 厚佳⁶、岡部 真一郎⁷、畦元 亮作²、糸林 詠³、厚川 正則⁴、杉浦 信之⁵、水本 英明⁶、
小林 和史¹、叶川 直哉¹、鈴木 英一郎¹、千葉 哲博¹、丸山 紀史¹、加藤 直也¹

P3-1-4 当院におけるレンバチニブ減量導入の成績

岐阜大学医学部 消化器病態学
○高井 光治、今井 健二、華井 竜徳、美濃輪 大介、清水 雅仁

P3-1-5 レンバチニブ治療における有害事象に対して減量調整後に積極的再増量を試みることの
臨床的意義

国立病院機構九州医療センター 肝胆膵外科・臨床研究センター
○和田 幸之、高見 裕子、佐々木 晋、今村 一步、嬉野 浩樹、龍 知記、才津 秀樹

ポスター会場（1F セミナールーム A+B+ホワイエ） 9:40~10:05

ポスターセッション 3-2

臨床 8

【司 会】田中 克明（秦野赤十字病院）

- P3-2-1 進行肝細胞癌に対するレゴラフェニブ及びレンバチニブ投与後早期の腫瘍内血流変化の臨床的意義
金沢大学附属病院 消化器内科
○高田 昇、山下 竜也、松川 弘樹、堀井 里和、寺島 健志、北原 征明、荒井 邦明、金子 周一
- P3-2-2 レンバチニブ投与中肝細胞癌の viability 評価における FDG-PET/CT の有用性の検討
¹ 虎の門病院 肝臓センター 内科、² 虎の門病院 肝臓センター 外科
○山重 大樹¹、川村 祐介¹、進藤 潤一²、粕谷 加代子¹、梶原 彰¹、入谷 壮一¹、小林 祐太²、小林 正宏¹、池田 健次¹、藤山 俊一郎¹、瀬崎 ひとみ¹、保坂 哲也¹、芥田 憲夫¹、斎藤 聡¹、鈴木 文孝¹、鈴木 義之¹、荒瀬 康司¹、橋本 雅司²、熊田 博光¹
- P3-2-3 切除不能肝細胞癌に対するレンバチニブの有用性と疲労・倦怠感の出現予測因子の探索
岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野
○黒田 英克、遊佐 健二、阿部 珠美、遠藤 啓、及川 隆喜、滝川 康裕
- P3-2-4 肝細胞癌に対するレンバチニブ投与における有害事象出現時期と外来テレフォンプォロアアップの重要性について
¹ 久留米大学 内科学講座消化器内科部門、² 医療法人 岩本内科医院、³ 久留米大学病院 薬剤部、⁴ 社会医療法人 ヨコクラ病院
○岩本 英希^{1,2}、下瀬 茂男¹、新関 敬¹、津村 紗代³、中野 聖士¹、城野 智毅¹、山口 泰三²、田中 正俊⁴、古賀 浩徳¹、鳥村 拓司¹
- P3-2-5 レンバチニブ治療における疲労感とカルニチン欠乏
順天堂大学練馬病院 消化器内科
○大久保 裕直、生駒 一平、大森 将史、石塚 敬、北川 隆太、大久保 捷奇、斉藤 紘昭

ポスター会場（1F セミナールーム A+B+ホワイエ） 10:05~10:30

ポスターセッション 3-3

臨床 9

【司 会】中尾 一彦（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器内科学）

- P3-3-1 FGFR2 融合遺伝子陽性肝内胆管癌における腫瘍の特徴
国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科
○丸木 雄太、森実 千種、大場 彬博、永塩 美邦、近藤 俊輔、脇岡 範、上野 秀樹、奥坂 拓志
- P3-3-2 IDH1 陽性肝内胆管癌の臨床的特徴
国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科
○原井 正太、森実 千種、大場 彬博、永塩 美邦、近藤 俊輔、脇岡 範、上野 秀樹、奥坂 拓志

- P3-3-3 初発肝癌で分子標的治療薬導入が考えられる AFP400 以上の症例
山梨大学 第一内科
○鈴木 雄一朗、前川 伸哉、小宮山 泰之、中岫 奈津子、松田 秀哉、村岡 優、辰巳 明久、
中山 康弘、井上 泰輔、榎本 信幸
- P3-3-4 Early stage 肝癌の治療後経過：分子標的薬の適応となる症例の頻度と肝予備能の推移
倉敷中央病院 消化器内科
○上野 真行、高畠 弘行、須江 真彦、萱原 隆久、守本 洋一、水野 元夫
- P3-3-5 肝細胞癌合併肝硬変症例に対するソラフェニブとレンバチニブの
肝星細胞活性に与える影響の相違
¹ 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科、² 東邦大学薬学部 病態生化学研究室
○小林 康次郎¹、永井 英成¹、向津 隆規¹、松井 太悟¹、天沼 誠¹、吉峰 尚幸¹、荻野 悠¹、
松井 哲平¹、和久井 紀貴¹、靱山 浩一¹、篠原 美絵¹、桧貝 孝慈²、五十嵐 良典¹

ポスター会場（1F セミナールーム A+B+ホワイエ） 9：15～9：40

ポスターセッション 4-1

症例報告 1

【司 会】森本 学（神奈川県立がんセンター）

- P4-1-1 進行肝細胞癌の腹膜播種に対しレゴラフェニブから外科的切除の conversion therapy
により根治が得られた一例
¹ 広島大学病院 消化器・代謝内科、² 広島大学病院 消化器・移植外科
○山岡 賢治¹、河岡 友和¹、相方 浩¹、安藤 雄和¹、小坂 祐未¹、末廣 洋介¹、内川 慎介¹、
盛生 慶¹、藤野 初江¹、中原 隆志¹、村上 英介¹、山内 理海¹、柘植 雅貴¹、平松 憲¹、
今村 道雄¹、高橋 祥一¹、佐伯 吉弘²、黒田 慎太郎²、小林 剛²、茶山 一彰¹
- P4-1-2 分子標的治療薬により Conversion Hepatectomy を施行し得た進行肝細胞癌の 3 例
¹ 徳島大学 消化器・移植外科、² 徳島大学 消化器内科
○齋藤 裕¹、友成 哲²、山田 眞一郎¹、荒川 悠佑¹、池本 哲也¹、森根 裕二¹、居村 暁¹、
高山 哲治²、島田 光生¹
- P4-1-3 右房内進展を伴う高度進行肝細胞癌に対して外科的切除と分子標的薬による集学的治療を
施行した 2 例
¹ 市立函館病院 消化器病センター 消化器内科、² 市立函館病院 消化器病センター 消化器外科
○山本 義也¹、中西 一彰²、早坂 秀平¹、土田 直央¹、東野 真幸¹、杉浦 諒¹、宮本 秀一¹、
木下 賢治¹、伊藤 淳¹、畑中 一映¹、成瀬 宏仁¹
- P4-1-4 RFA と多種分子標的治療薬の適宜投与で 5 年生存が得られている
肝細胞癌（HCC）肺転移の 1 例
¹ 国立国際医療研究センター 消化器内科、² 国立国際医療研究センター 臨床検査科診療科、
³ 日本赤十字社医療センター 消化器内科、⁴ 国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科、
⁵ 国立国際医療研究センター 肝胆膵外科
○野崎 雄一¹、斎藤 明子¹、小島 康志¹、柳瀬 幹雄¹、正木 尚彦²、中田 良³、池田 公史⁴、
國土 典宏⁵

- P4-1-5 多発肝細胞癌に対してアイエーコールとジェルパート破砕片で動注塞栓後に Lenvatinib 低用量で開始し腫瘍縮小が得られた 1 例
¹ 製鉄記念室蘭病院 放射線科、² 製鉄記念室蘭病院 消化器・血液腫瘍内科、³ 現) 王子総合病院 消化器内科
 ○湯浅 憲章¹、渡辺 大地²、前田 征洋²、村松 丈児^{2,3}

ポスター会場 (1F セミナールーム A+B+ホワイエ) 9:40~10:05

ポスターセッション 4-2

症例報告 2

【司 会】吉治 仁志 (奈良県立医科大学 消化器・代謝内科)

- P4-2-1 Lenvatinib 2 ヶ月内服後、7 ヶ月無治療であったが増悪なく経過した多発骨転移 RT 後 HCC の 1 例
 国立病院機構 四国がんセンター 消化器内科
 ○浅木 彰則、灘野 成人
- P4-2-2 巨大肝細胞癌に対し TACE 後、レンバチニブで良好な奏功が得られた 1 例
 川崎医科大学附属病院 肝胆膵内科学
 ○大海 宏暢、富山 恭行、佐々木 恭、吉岡 奈穂子、仁科 惣治、原 裕一、日野 啓輔
- P4-2-3 レンバチニブと TACE のシーケンシャル治療により disease control が得られている 1 例
 福岡大学病院 消化器内科
 ○田中 崇、森原 大輔、宮山 隆志、福田 洋美、山内 涼、梅田 かおる、土屋 直壮、高田 和英、横山 圭二、竹山 康章、釈迦堂 敏、平井 郁仁
- P4-2-4 ラジオ波治療後の区域性多発肝内再発に対し分子標的治療が有用であった肝細胞癌の 1 例
 東京医科大学 消化器内科
 ○阿部 正和、杉本 勝俊、吉益 悠、竹内 啓人、笠井 美孝、糸井 隆夫
- P4-2-5 ソラフェニブ不耐にレンバチニブが奏効した HCC の 1 例
 四国がんセンター 消化器内科
 ○坂口 智紘、浅木 彰則、灘野 成人

ポスター会場 (1F セミナールーム A+B+ホワイエ) 10:05~10:25

ポスターセッション 4-3

症例報告 3

【司 会】能祖 一裕 (岡山市立市民病院 消化器内科)

- P4-3-1 Lenvatinib が著効した門脈本幹腫瘍栓 (Vp4) を伴う肝細胞癌の一例
 大阪赤十字病院 消化器内科
 ○瀧本 郁久、木村 達、坂本 梓、米門 秀行、喜多 竜一、丸澤 宏之
- P4-3-2 門脈腫瘍栓 Vp4 合併進行肝細胞癌に対して経皮経肝的門脈ステント留置術を施行した 1 例
 広島大学病院 消化器代謝内科
 ○小坂 祐未、河岡 友和、末廣 洋介、安藤 雄和、山岡 賢治、竹内 泰江、難波 麻衣子、内川 慎介、児玉 健一郎、大屋 一輝、盛生 慶、藤野 初江、中原 隆志、村上 英介、山内 理海、柘植 雅貴、平松 憲、今村 道雄、相方 浩、茶山 一彰

- P4-3-3 高腫瘍量を有する肝細胞癌に対してもレンバチニブが有効であった 1 例
大阪国際がんセンター 肝胆膵内科
○名和 蒼敏、清田 良介、今井 俊裕、阿部 友太郎、長谷川 徳子、大川 和良、片山 和宏
- P4-3-4 Fibroblast growth factor receptor (FGFR) 4 の発現上昇を認め、レンバチニブが著効した肝細胞癌、多発転移の 1 例
新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野
○柴田 理、上村 顕也、酒井 規裕、高 昌良、森田 真一、水澤 健、佐藤 裕樹、坂牧 僚、寺井 崇二

ポスター会場 (1F セミナールーム A+B+ホワイエ) 9:15~9:35

ポスターセッション 5-1

症例報告 4

【司 会】名越 澄子 (埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科)

- P5-1-1 保険薬局からのテレフォンプォロアップにより進行肝細胞癌に対する Lenvatinib の用量強度を維持し継続できた 1 例—当院での薬・薬連携体制—
¹広島大学病院 薬剤部、²広島大学病院 消化器・代謝内科、³日本調剤広大前薬局
○櫻下 弘志¹、佐伯 康之¹、泉谷 悟¹、伊倉 あかね¹、住田 暁³、安藤 雄和²、山岡 賢治²、末廣 洋介²、小坂 祐未²、内川 慎介²、盛生 慶²、山内 理海²、中原 隆志²、村上 英介²、河岡 友和²、平松 憲²、今村 道雄²、相方 浩²、茶山 一彰²、松尾 裕彰¹
- P5-1-2 レンバチニブ投与中二峰性の倦怠感出現に対してレボカルニチン製剤投与が有用であった進行肝細胞癌の一例
順天堂大学練馬病院 消化器内科
○生駒 一平、大森 将史、北川 隆太、石塚 敬、大久保 捷奇、斉藤 紘昭、大久保 裕直
- P5-1-3 レンバチニブ投与後 1 か月で小腸穿孔をきたした一例
¹富山大学医学部 第三内科、²富山大学医学部 第二外科、³富山大学医学部 診断病理学
○田尻 和人¹、二日市 有花¹、鈴木 奈穂美¹、村山 愛子¹、小林 才人¹、高橋 孝輔¹、渋谷 和人²、田中 真一³、藤井 努²、安田 一郎¹
- P5-1-4 レンバチニブ投薬により腫瘍濃染像の消失と腫瘍増大を認めた後 Trousseau 症候群を合併した肝細胞癌の 1 剖検例
岩手医科大学 内科学講座消化器内科肝臓分野
○阿部 珠美、黒田 英克、遊佐 健二、岡本 卓也、遠藤 啓、及川 隆喜、佐原 圭、滝川 康裕

ポスター会場 (1F セミナールーム A+B+ホワイエ) 9:40~10:05

ポスターセッション 5-2

基礎&診断

【司 会】田中 真二 (東京医科歯科大学医学部 分子腫瘍医学)

- P5-2-1 血清 FGF19 の治療前値及びその推移から見た肝細胞癌のマルチキナーゼ阻害剤の治療効果予測
¹千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、²千葉大学大学院医学研究院 分子ウイルス学
○千葉 哲博¹、神崎 洋彰¹、前田 隆宏¹、金山 健剛¹、丸田 享¹、小林 和史¹、清野 宗一郎¹、近藤 孝行¹、齊藤 朋子¹、日下部 裕子¹、叶川 直哉¹、中村 昌人¹、小笠原 定久¹、鈴木 英一郎¹、大岡 美彦¹、中本 晋吾¹、室山 良介²、加藤 直也¹

- P5-2-2 肝細胞癌の糖代謝抑制による腫瘍免疫賦活化と治療展開
¹川崎医科大学 肝胆膵内科学、²川崎医科大学 生化学、³株式会社先端医療開発
○佐々木 恭¹、仁科 惣治¹、山内 明²、福田 宏太郎³、原 裕一¹、日野 啓輔¹
- P5-2-3 RNA シーケンスによるトランスクリプトーム解析を用いた SVR 後肝発癌機構の検討
¹名古屋市立大学大学院医学研究科 病態医科学、
²群馬大学大学院医学系研究科 総合外科学講座 肝胆膵外科学分野、
³九州大学大学院 消化器外科・総合外科、⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器・移植外科学、
⁵岐阜県総合医療センター 消化器内科、
⁶東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻生命システム観測分野、
⁷国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター
○大西 雅也¹、松浦 健太郎¹、調 憲²、吉住 朋晴³、島田 光生⁴、森根 裕二⁴、清水 省吾⁵、
鈴木 穰⁶、中川 英刀⁷、田中 靖人¹
- P5-2-4 プール型 CRISPR ライブラリースクリーニングによる肝がんレゴラフェニブ効果予測
マーカーの探索
大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学
○小玉 尚宏、末村 茂樹、疋田 隼人、阪森 亮太郎、巽 智秀、竹原 徹郎
- P5-2-5 非 NASH 症例における肝細胞癌早期診断マーカーとしてのアシルカルニチンの有用性
奈良県立医科大学 消化器内科学講座
○高谷 広章、浪崎 正、鍛冶 孝祐、辻 祐樹、中西 啓祐、佐藤 慎哉、下里 直隆、
瓦谷 英人、吉治 仁志